

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
2【かかわる】	<p>⑩【県内外や海外の人々とのつながり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信を通して、支援に関わっている方々との絆を考えるとともに感謝の心を育む</li> </ul> <p>⑫【自分と地域社会】 ⑭【復興・復旧へのあゆみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との交流（体験学習）を通して、働くことや人とつながりの意義を考えさせ、地域に誇りを持ち復興を担う人材の育成を目指す。</li> </ul>	<p>ふるさと科 総合的な学習の時間</p>

【題材】

- ・「ふるさと科」において町内外で体験学習を行う。
- ・情報発信クラブ「かたりべ」で本校や大槌町の復興の様子を情報発信。

【対象】

- ・全校生徒

【実践の概要】

- ①町内外での職場体験学習
- ②情報発信クラブ「かたりべ」による情報発信
- ③支援に関するお礼活動
- ④学校コーディネーターと連携した地域の特産物の学習とチラシ作成

【実践の詳細】

①町内外での職場体験学習（3学年）

〈事前学習〉

- ・6月中旬 職業について考えよう
- ・7月2日（火） 働くこと、そして生きること
- ・7月5日（金） 訪問先を決めよう
- ・7月12日（金） シギー吉田さんによる写真撮影指導
- ・8月30日（金） 事前打ち合わせ
- ・9月2日（月） 職場体験結団式

〈職場体験〉

- ・9月3日（火）、4日（水）  
職場体験（町内51事業所）

〈まとめ〉

- ・9月5日（木） 職場体験のまとめ

②「かたりべ」による情報発信

- ・7月11日（木） 盛岡市立土淵中学校
- ・10月6日（日） 秋田県大仙市立太田中学校
- ・10月9日（水）～11日（金） 北海道滝川市  
國學院北海道短大・滝川市立江陵中学校
- ・平成26年1月 長野県軽井沢町（予定）

③支援に対する御礼活動

- ・11月6日（水） マストにおいて「サンクスコンサート」3学年合唱
- ・12月13日（金） 大槌町派遣職員への感謝する会  
大槌町役場多目的ホール
- ・12月下旬 支援していただいた方々へ感謝の手紙や年賀状を送る。

④大槌町特産物のチラシ制作

- ・11月 地域の特産物について調べる。（資料収集を含む）
- ・12月 チラシの案を決定する。 チラシをつくる。
- ・平成26年1月 チラシを発想する（予定）



## 【授業の展開】

### 〈職場体験学習〉

#### ①目的

- ・ 関心や意欲を持って人や物事にに関わり課題を見つける。
- ・ 地域の人との交流などを通して、社会との共生の課題に気づく。
- ・ 他社との関わりの中から自分を見つけることができる。
- ・ 働くこと、生きることについて自分なりの考えを持つ。

#### ②期 日 平成25年9月3日(火)、4日(水)・・・2日間

#### ③対 象 3学年全生徒(107名)

#### ④内 容 大槌町内の51箇所の事業所において職場体験学習を実施。

(主な業種：福祉施設・消防署・農業・製造・小売業)

### 【生徒の感想】(抜粋)

- ・ この職場体験学習を通して、町内には震災からの復興に向けて頑張っている方々がたくさんいるということに改めて感じました。自分たちも将来、大槌町の役に立てる大人になるために努力しようと思いました。
- ・ 「かたりべ」活動で大槌中学校や大槌町についての情報発信を行ってきました。私たちの発表を会場の人達が真剣に聞いてくれて嬉しかったです。これからもより多くの人達に感謝の気持ちと大槌の様子を伝えていきたいです。

### 【実践のまとめ】

- ・ 職場体験学習において、震災に負けることなく生活を守るため又、復興に向けて懸命に働いている地域の方々の思いや姿勢に触れ、生徒たちは生きること、働くことの意義について自分なりの考えを持つことができたようである。併せて、自分の住む地域に対しての誇りに思う気持ちも育てることができた。
- ・ 情報発信を行うことで、地域や自分たちの置かれている環境を把握することができた。又、県内はもとより全国の支援していただいた方々に対する感謝の気持ちを持ち、さらにそれを自分たちの力で表すことができたことで自信が付き、大きく成長することができた。
- ・ 今後は、「かかわる」だけでなく、「いきる」・「そなえる」についても、積極的に取り組み生徒たちが将来どこで生活しようとも人とのつながりを大切に、自ら危機管理ができ、働くことの大切さを意識しながら生きていける力を身につけさせるため復興教育を含めた学校教育の実践と充実を図りたい。

### 【地域の方の感想】

- ・ 機敏に行動し、作業が大変はかどり助かりました。地元の生徒が熱心に学習している姿を見て頼もしく感じました。
- ・ 生活や復興は働くことで支えられているので、この体験学習を通して多くのことを学んで欲しいと思いました。
- ・ 地域の生徒たちが、私たちのことを考え応援しようとする気持ちや姿勢に触れ、非常に嬉しく思うとともに、感謝の気持ちで一杯です。

